

こうみょう

第 39 号

によらい こうみょう こうみょう ちえ
この如来は光明なり。 光明は智慧なり。

ちえ
智慧はひかりのかたちなり。

しんらんしようにんちよさく いちねんたねんもんい
親鸞聖人著作『一念多念文意』

NHKの朝の連続テレビ小説(朝ドラ)『あなぱん』が終わりました。個人的にですが、とつても面白く、心打たれながら観ておりました。みんなが大好きな『アンパンマン』が生まれるにいたる物語には感動し、胸にじいぐんと染み渡りました。

『アンパンマン』の主題歌にうたわれる、「なんのために生まれて 何をして生きるのか」という言葉は、ドラマが始まってすぐに登場し、全体を貫くテーマであったと思います。

そしてその答えを、たかしものぶも「逆転しない正義」に求めます。第二次世界大戦を経験した二人は、いとも簡単にひっくり返る「正義」に翻弄され、傷つきました。

恐らく、当時は同じように傷ついた多くの人がいらっしやったのだらうと想像いたします。だから、『アンパンマン』の主題歌の歌い出しには、「そうだうれいんだ 生きるよろこび たとえ胸の傷がいたんでも」と歌います。あえて、「胸の傷がいたんでも」という歌詞を添えるのです。子どものアニメだとして、この歌詞は添えなくてもいいですよ。でも、世代を超えて誰もが胸に傷を抱えている、それでも、生きることは嬉しいし、喜びがあるんだと伝えてくださっているのでしょう。

言いたいことは尽きませんが、この辺で。ほいたらね。



浄土真宗の葬儀のお荘厳(光明寺所有)

第 39 号

2025 年 10 月 1 日発行

発行責任者

〒135-0013

東京都江東区千田 9-7

真宗大谷派 光明寺

住職 小林尚樹

電話：03-3644-3043

ホームページ：

<http://koumyouji-fukagawa.or.jp/>

第26回終活セミナー報告

9月6日(土)、第26回目となる「終活セミナー」を開催いたしました。

参加者は、お寺には講師陣含め30名、Zoomでの参加が8名いらっしゃいました。

やはり、介護については関心が高いですね。

お話しいただいたのは、海辺長寿サポートセンター(地域包括支援センター)の村川泰司さん。「介護保険サービスが必要になったら申請から利用まで」というテーマで、基礎的な「はじめの一步」についてお話しいただきました。

誰もが介護保険サービスを受けることができますが、やはり申請から始まります。

そして、調査と審査により介護認定を受けることでその介護度に応じて介護保険サービスを受けることができるようになります。ですから、まずは各地の地域包括支援センターに相談することが大事ですね。

住職からのお話しは、はじめての方もいらっしゃるいましたので、定番ですが「仏教の終活」についてお話ししました。

仏教は「老・病・死」を抱えたいのちをどう生きるか、という問いから始まっています。

終活という言葉で言われている様々の不安の多くは、早めに相談し、準備することで解決できます。でも、どうしても解決できないことは、この私はやがて「死」を迎えるという、このいのちの厳粛な事実です。

私たちは、いま生きています。

死にゆくいのちを、どう生きてゆくのかということは仏教のテーマです。

私は「仏教の終活」として、「死にゆくいのちを、仏の教えをよりどころにして、いま生きて行く」と表現しております。



次回第27回は11月15日(土)、テーマはアンケート結果により「お墓」といたします。

光明寺合葬墓「光明廟」をデザインいただいた、礼拝空間デザイン室『TSUNAGU』の森口純一さんにお越しいただき、現代のお墓事情や未来の供養についてお話しいただきます。

ぜひ、ご参加ください

アンケートをご紹介します。

◆参加の動機を教えてください

- ・自分のわからないことを聞くことができる
- ・息子に誘われて来ました
- ・支援をしている高齢者の方に、介護保険を知っていただくため一緒に参加しました

◆新たな発見や気づきがありましたか

- ・リアルで地域住民が参加すると、こんなに真剣に皆さんが話を聞いて、質問が多く出たことに驚きがありました
- ・長寿サポートセンターが身近になりました
- ・一日一日大切に生きること
- ・生き方が大切なのだという思いを強くしました。また仏教のお話を聞きたいです
- ・分かりやすいお話で、支援者への説明時に参考にした点が多々あり勉強になりました

◆全体を通しての感想など

- ・たくさんさんの意見を聞いて勉強になりました
- ・仏事も介護も必須の事柄と思う
- ・まずは要支援の状態を申請しなければならないうちにハードルの高さを感じました

◆聞いてみたいテーマは?

- 1位 相続・遺言 2位 葬儀・お墓
- 同率3位 ACP 介護施設について
- 相続・遺言は関心が高いようですが、前回取り上げたテーマですので、2位の葬儀・お墓、特にアンケートの中でも何人かが希望されていた「お墓」にしたいと思います。

「お寺葬」パンフレットを

作成いたしました

ご門徒さんにはすでにお送りしておりますが、お寺での葬儀をお勧めしたいと願い、パンフレットを作成いたしました。

すでにお寺での葬

儀は何度も執行しておりますが、ご存知ない方が多くいらつしやるようですので皆さんに知っていただくために、分かり易くパンフレットにしてご覧いただけるようにいたしました。

ご葬儀については、分からないことや不安に思うことがたくさんあると思います。

まずは、お寺にご相談ください。



お寺のホームページ内に「お寺葬」のパンフレットを載せています。QRコードを読み取っても見ることができます。



新盆合同法要勤修

7月6日（日）新盆合同法要をお勤めいたしました。新盆は、お身内を亡くされ、お盆前に49日法要を済ませ、最初のお盆を迎えた家が対象になります。

お寺よりご案内させていただいておりますが、家ごとの個別の新盆法要もお勤めさせていただきますのでご相談ください。



浄土真宗のお盆のお飾り
切子灯籠

秋季彼岸会合同法要勤修

9月23日（火・祝）お彼岸のお中日に、秋季彼岸会合同法要をお勤めいたしました。毎年、お中日の13時より開催する予定でありますので、ぜひ、ご参詣ください。



13時より合同法要
13時50分頃より
住職による法話
14時20分頃 終了

坊守のつばや記

今年の夏は猛暑続きで本当に暑かったです。八十年前の夏はどうだったのでしょうか。今年で戦後八十年を迎えた今年、新聞・テレビなどでも色々取り上げられていました。私は戦後生まれなので、戦争を知らない世代です。両親も3歳くらいだったので話に聞いたことはありません。

先日、お寺のカフェにみえる九十代の女性にお話を伺いました。「戦争の事を覚えていらっしゃるんですか」「覚えていますよ。家から南の方を見ると、夜なのに空が真っ赤でね、家の横を荷車を引いて歩いていく人たちがいてね、真夜中になると家の庭先で休ませてくたさいと。知らない人が敷地内にいるというのは子供ながらとても怖い思いをしましたよ」と優しい笑顔で話してくれました。

その方は、埼玉県に住んでいらしたので、真っ赤な空は東京大空襲だったのかもしれない。荷車を引いて歩いている人達は東京から逃げてくる人だったのでしょうか。とても貴重なお話を伺うことができました。

あれから八十年。八月十五日。高校野球甲子園球場で正午に一分間の黙祷。遊びに来ていた二歳の孫と一緒に手を合わせました。

悲惨な歴史があつて今があります。平和を切に願ひながら合掌。（釋尼真依）



報告

毎年8月、東京教務所を通じて、宗派への護持金等の納金依頼書が届きます。それぞれのお寺で提出している門徒戸数に基づいて、ご依頼額が決められます。今年度の光明寺へのご依頼総額は、九十八万七千円でした。

今年も無事に納金を済ませることができましたこと、皆さまに御礼申し上げます。

本山・真宗本廟（京都の東本願寺）は、ご門徒一人お一人からの「ご懇志」によって護持・運営されています。末寺は、そのご門徒からの「ご懇志」を取り次ぐ役目を担っております。

光明寺では、ご門徒の皆さまに「光明寺護持会費」の納入をお願いいたしております。

お納めいただきました会費によって、本山への護持金等の納入と、光明寺の営繕費や教化活動のための資金とさせていただきますようお願いしております。

本年お納めいただいた護持会費は一六八件、八十三万七千円でした。ご懇念に對しまして厚く御礼申し上げます。その全額を本山への護持金として支出いたしました。

不足分につきましては、光明寺通常会計より支出いたしました。

引き続き、「光明寺護持会費」の納入をお願いしてまいりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

報恩講のご案内

宗祖親鸞聖人の御遺徳を偲び、阿弥陀如来の本願に遭遇し得た喜びを、共に確かめ合いたいと思います。ぜひ御参詣ください。

期日 2025年11月9日（日）
日程 13時 「報恩講」開式

13時45分 法話 本田彰一師

（墨田区・本明寺）

14時30分 お斎

※参詣をご希望の方は、お斎の準備の都合上、お寺までご連絡ください。

修正会のご案内

新しい年を迎えるにあたり、お寺で一緒に「正信偈」をお勤めしましょう。

期日 2026年1月1日（木）
日程 11時 「修正会」開式

11時30分 新年会

※どなたでもご参詣いただけますが、準備の都合上、お寺までご連絡ください。

第27回終活セミナー

「終活」とは、やがて終わりを迎える私の人生に向き合い、心配なことを整理し、今のいのちを安心して生きて往くための活動です。お寺で、一緒に考えましょう。

開催日 11月15日（土）14時～16時
テーマ 「これからのお墓について」

考えてみよう

講師 礼拝空間デザイン室

『TSUNAGU』代表 森口純一さん

参加費 無料

どなたでもご参加いただけますので、参加をご希望の方は、お寺までご連絡ください。今回も、お寺での参加（定員24名）と「Zoom」との併催となります。

親鸞聖人の生涯に学ぶ

親鸞聖人の生涯を学ぶことを通して、この私の人生について考えてみましょう。

期日 2026年1月24日（日）14時

毎月開催いたします。

※詳細はHPのお知らせをご覧ください。